

掲示用

No.245 令和6年1月発行

がっこうきゅうしょく れきし し  
学校給食の歴史を知ろう

1月 日( )

めいじ やまがたけんつるおかし てら けいだい ぼう しょうがっこう  
明治22年、山形県鶴岡市のお寺の境内に、お坊さんによって小学校  
が作られました。お坊さんは、お経を唱えて一軒一軒家をまわりお米やお  
かねをもらい、生活が苦しくて学校にお昼ごはんを持ってこられない子ども  
たちに、「おにぎり・塩さけ・漬け物」の食事を出したことが、給食の始まり  
といわれています。給食は、戦争のため一時中断されましたが、戦後  
食糧難となり、栄養不足になってしまった子どもたちのために、世界各国  
から援助物資が届けられ、脱脂粉乳をお湯でといたミルク給食が提供さ  
れました。

げんざい  
現在では、栄養のバランスがととのった給食を食べることができ、わた  
したちの健康や成長を支えています。食べ物や給食に携わる人々の思い  
やご苦労に感謝して、今日も給食をおいしくいただきましょう。



明治22年ごろの給食



しょうわ  
昭和22年ごろの給食

脱脂粉乳